

本論文は

世界経済評論 2023 年11/12月号

(2023 年 11 月発行)

掲載の記事です



世界経済評論 定期購読のご案内

年間購読料

1,320円×6冊=7,920円

6,600円

税込

17%

送料無料

OFF

富士山マガジンサービス限定特典

※通巻682号以降

定期購読
期間中

デジタル版バックナンバー読み放題!!



世界経済評論 定期購読

0120-223-223

[24時間・年中無休]

お支払い方法

Webでお申込みの場合はクレジットカード・銀行振込・コンビニ払いからお選びいただけます。
お電話でお申込みの場合は銀行振込・コンビニ払いのみとなります。

Fujisan.co.jp
雑誌のオンライン販売

日系コンビニエンス・ストア の国際展開 ：流通近代化を超えて

広島大学名誉教授 金原 達夫



[著者]

川邊信雄 (かわべ のぶお)

早稲田大学・文京学院大学名誉教授

[発行] 文眞堂, 2023年5月

[判型] A5判, 506ページ

[定価] 本体3,800円+税

コンビニ事業は、小売業の中でも最も顧客対面的で日常的である。それは、消費者の心理を映しながら進化している。事業の持続的成功は、個々の商品の良し悪しにあるのではなく、人々の生活に本当に手を差し伸べることができるかどうかに根本的に依存している。今日の日系コンビニ各社の国際展開は、この点の深い洞察と経営的取り組みを試されている。

「経営史とは、ビジネス・システムやビジネス人が、いかにして今日の状態に立ち上がったかを説明するものである」(p.35)という経営史の基本スタンスに依拠する著者は、日系コンビニ各社が国際展開する過程で直面した課題、それに対処してゆくアプローチ、課題を克服する

あるいはやむなく撤退する過程を、時間的にも空間的にも広い分析枠組みを用いて、綿密な事実確認を行い分析する。

それは、経営の内部システムはもちろん、国内・海外の競合企業との相互作用、進出国・地域の社会文化、経済、技術、政治のマクロ要因との相互作用を分析枠組みに含む。その上で、国際経営論で論じられる「標準化」と「現地適応」の課題を、多様な要因から成る進化発展のプロセスとして分析する。

コンビニは、最先端技術で世界を変えていく半導体産業などと違って、人々の日常生活や心理にビタリと寄り添い、深く密着して、半ば潜在的なニーズの商品・サービスを絶え間なく提供していく事業である。それは、最先端の技術や経営理論でも構築することが難しい。とりわけ海外展開では、進出先社会の人々の生活心理に寄り添うことが強く求められる。

そのため、市場では時間の経過とともに現地企業が成長し、しばしば現地企業に競争上の優位性を与える。日系コンビニ企業の挫折や撤退は、他業種の平均的な海外展開よりも多く起こっている。それは、現地化の問題では片づけられない。現地化という言葉は、資本、ポスト、原材料の現地化などのように個別に解釈されてきたが、そうした表面的なことではないものが求められているのである。

本書は、膨大な資料に基づいて日系コンビニ各社の国際展開の経緯と要因、直面した課題を丁寧に描いている。かかわった多くの人々の汗と努力と苦悩が目に見えるようである。本書には多くの歴史的事実が記述され、読者に多様な刺激を与える。そこからどのようなパターンを読み取り、いかなる経営を実践的に理論的に創造するか、読者は問われているようである。

(きんばら たつお)